

2022年度 外科年報

1. 体制

外科常勤医は21名(スタッフ13名、専攻医8名)、非常勤医3名である。甲状腺外科は、日本医科大学より杉谷巖教授を非常勤医として招聘している。

2. 診療

2022年度の手術件数は1,746件(中央手術室集計)で、昨年度と大きな変化はない。胃、直腸領域でロボット手術件数が大幅に増加している。

2022年11月にHCU4床を開設した。これにより術後患者をより早期に回復させ、早期退院に向けた術後管理を行っている。

3. チーム医療

理学療法士、薬剤師、栄養士、臨床検査技師など多職種によるチーム医療によって、術後合併症の低減と在院日数の短縮が図られている。

4. 地域連携

ソーシャルワーカーを中心に診療支援室や連携室の積極的な活動と、地域の医療施設・福祉施設のご協力とご理解により、紹介・逆紹介の件数が増加している。

I：外科手術件数(2022.1月－2022.12月)

	2021年(内視鏡手術)	2022年(内視鏡手術)
合計	1,739件	1,746件
頸部	27	39
肺	127(58)	130(52)
縦隔	5	6
乳房	173	185
血管	115	84
消化器	1,031(405)	1,000(453)
食道	12(0)	12(0)
胃	122(33 ロボット 16)	120(40 ロボット 31)
十二指腸	12(0)	7(0)
小腸	88(13)	70(14)
虫垂	107(30)	97(37)
結腸	193(64)	198(70)
直腸	91(44 ロボット 1)	96(59 ロボット 17)
肛門	25	38
腸閉塞	65	43
肝	35	44(9)

胆道	249(221)	244(224)
膵	31	28
脾	1	2
ヘルニア	215	228
外傷	9	6
再手術	31	19
その他	85	83

II：予定手術における術後合併症

1) 消化器

食道 C-D 分類Ⅲa:2、C-D 分類Ⅲb:1、C-D 分類Ⅳa,Ⅳb,V:0

胃 C-D 分類Ⅲa:4、C-D 分類Ⅲb:1、C-D 分類Ⅳa:0、C-D 分類Ⅳb,V:1

結腸 C-D 分類Ⅲa:5、C-D 分類Ⅲb:2、C-D 分類Ⅳa:0、C-D 分類Ⅳb,V:1

直腸 C-D 分類Ⅲa:6、C-D 分類Ⅲb:5、C-D 分類Ⅳa,Ⅳb,V:0

肝 C-D 分類Ⅲa:2、C-D 分類Ⅲb:1、C-D 分類Ⅳa:0、C-D 分類Ⅳb,V:1

胆道 C-D 分類Ⅲa:1、C-D 分類Ⅲb,Ⅳa,Ⅳb,V:0

膵 C-D 分類Ⅲa:6、C-D 分類Ⅲb:1,Ⅳa,Ⅳb,V:0

・消化器外科全体

手術関連死 3(0.3%)

術死 2

在院死 1

2) 呼吸器

C-D 分類Ⅲa:4、C-D 分類Ⅲb:0、C-D 分類Ⅳa,Ⅳb,V:0

3) 乳腺

C-D 分類Ⅲa:4、C-D 分類Ⅲb:2、C-D 分類Ⅳa,Ⅳb,V:0

4) 血管

腹部大動脈瘤(非破裂)25例 術死 0

腹部大動脈瘤(破裂)4例 術死 0

EVAR 17例 術死 0 ASO 8例 術死 0 下肢静脈瘤 14例

III：外科全体(予定・緊急)における術死及び手術関連死総数

11(0.6%)

術死 5(予定 2、緊急 3)

在院死 6(予定 1、緊急 5)